

# 【公共施設等個別施設計画】

人とひと・人と自然・人と宇宙がつながる  
誰にでも居場所のあるまち大樹



令和8年3月改訂

大 樹 町

## 目次

I	計画の目的等	1
1.	背景と目的	1
2.	計画期間	2
3.	計画の位置づけ	3
II	対象施設	4
III	計画の基本方針	7
IV	施設分類ごとの現状、課題と個別方針	8
1.	庁舎等行政関連施設	8
2.	子育て・福祉支援施設	10
3.	住宅施設	11
4.	産業関連施設	12
5.	社会教育・スポーツ施設	14
6.	各コミュニティ・集会所	16
7.	学校教育関連施設	18
8.	その他	20

# I 計画の目的等

## 1. 背景と目的

大樹町では、物価高、人件費の上昇、少子高齢化による社会保障費の高止まりや子育て支援政策の拡大などにより、公共施設等の維持管理に充てられる財源が限られ、現在保有するすべての施設を将来にわたり維持し続けることは困難になります。

そのため、全ての公共施設等の状況を把握し、将来的に必要とする施設の改築を進めるとともに、建物の長寿命化のための改築を計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化するとともに、社会情勢の変化を考慮しながら、公共施設の廃止、統合など効率的かつ適正に管理するための基本方針を定める必要があります。

この課題に対して、平成28年に「大樹町公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）を策定するとともに、令和5年度に施設ごとの改修や管理方針をまとめた「大樹町公共施設等個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定しました。

本年度は総合管理計画の当初策定から10年が経過し最終年度となることから、新たな計画の策定を進めており、本計画もこれに合わせて更新するものです。

## 2. 計画期間

本計画の計画期間は、令和 8（2026）年度から令和 17（2035）年度の 10 年間とし、総合管理計画の計画期間と整合性を図るものとします。

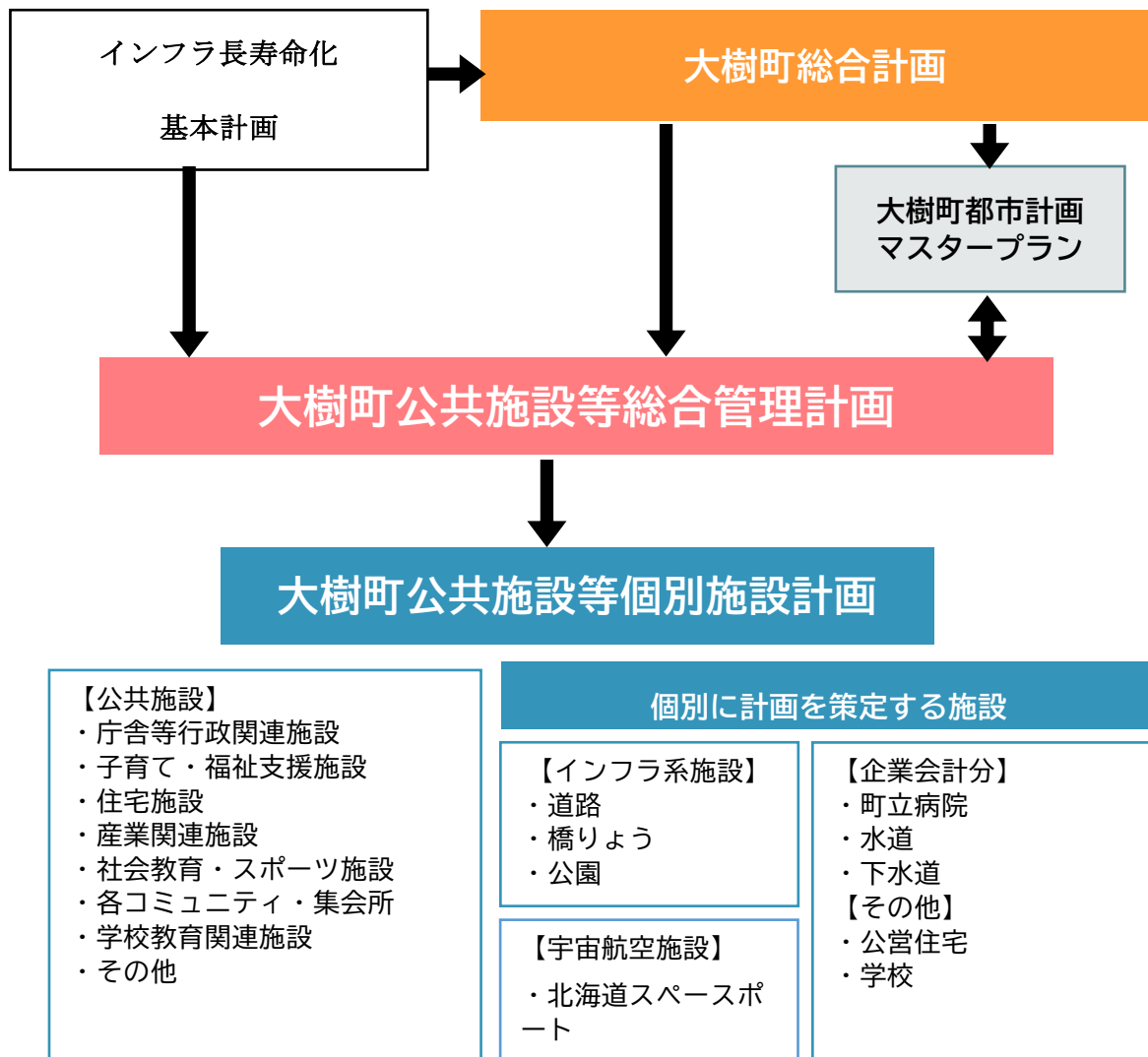
なお、計画期間中において、本町の基本計画である「大樹町総合計画」や総合管理計画など上位計画の改訂や国の関連施策の動向、取組状況の進捗や社会情勢等の変化に応じ、適宜、見直しを行います。

### 3. 計画の位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月 25 日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）の公共建築物に係る個別施設計画及び総合管理計画で必要に応じて施設ごとに策定するとして個別計画として位置付けるもの（図表 1）です。

また、本計画の策定にあたっては、町の総合計画や都市計画マスタープランなどの上位・関連計画との整合性を図り策定及び更新を行います。

図表 1 計画の位置づけ



## Ⅱ 対象施設

本計画では、総合管理計画で対象とした計 70 施設（図表 2）を対象とし、個別に計画を策定（予定を含む）した施設等（図表 3）や普通財産として管理する住宅、公衆トイレ・簡易休憩場所・公園施設内の四阿・車庫・倉庫・物置等の小規模施設は対象外とします。

なお、本計画策定後、新たに整備した施設については、総合管理計画の改訂に併せて対象施設として追加します。

図表 2 対象施設の一覧と主要建築物の概要

施設分類	No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	総延床面積 (㎡)
庁舎等行政関連施設	1-1	役場庁舎	2021	4	RC	2,947.6
	1-2	スマート街区	2021	4	RC	111.1
	1-3	消防庁舎	1999	26	SRC	1,843.0
	1-4	石坂消防会館	1994	31	S	126.0
	1-5	生花消防会館	1989	36	S	81.0
	1-6	尾田消防会館	1986	39	S	174.0
子育て・福祉支援施設	2-1	福祉センター	1970	55	RC	1,131.7
	2-2	南十勝こども発達支援センター	1981	44	S	537.8
	2-3	高齢者保健福祉推進センター	1998	27	RC	1,418.4
	2-4	特別養護老人ホーム	1995	30	RC	2,434.0
	2-5	デイサービスセンター	1995	30	RC	469.0
住宅施設	3-1	ワーキングステイ住宅	1988 ～ 1996	28～ 37	W	222.3
	3-2	農業担い手単身者住宅	2000	25	W	395.3
産業関連施設	4-1	学童農業研修センター	1982	43	RC	826.0
	4-2	晩成温泉	1980	45	RC	1,136.9
	4-3	地場産品研究センター	1990	35	RC	303.0
	4-4	光地園牧場	1973 ～ 2003	22～ 53	W	2,924.2
			1973 ～ 2004	21～ 52	S	6,343.5
	4-5	晩成牧場	1987 ～ 1991	34～ 38	W	192.7
社会教育・スポーツ施設	5-1	郷土資料館	1933	92	W	736.3
	5-2	図書館	1975	50	S	1,362.2
	5-3	B & G 海洋センター	1981	44	S	1,214.1
			1982	43	SRC	942.1

大樹町公共施設等個別施設計画

	5-4	武道館	1984	41	S	934.2
	5-5	B & G 海洋センター艇庫	1989	36	S	628.1
	5-6	高齢者健康増進センター	1991	34	S	666.5
	5-7	生涯学習センター	1998	27	RC	4,963.7
	5-8	中央運動公園センターハウス	1996	29	S	775.8
	5-9	町民プール	2023	2	SRC	804.6
各コミュニティ・集会所	6-1	尾田地域コミュニティセンター	1993	32	RC	1,793.9
			1989	36	S	850.6
	6-2	中島地域コミュニティセンター	1992	33	RC	1,340.1
			1990	35	S	699.5
	6-3	歴舟地域コミュニティセンター	1997	28	RC	1,177.3
			1991	34	34	699.5
	6-4	開進福祉ホーム	1982	43	W	112.6
	6-5	上中島福祉ホーム	1982	43	W	95.7
	6-6	南町行政区会館	1996	29	W	60.8
	6-7	晩成行政区会館	2020	5	W	153.4
	6-8	美成福祉ホーム	1973	52	W	120.3
	6-9	拓北福祉ホーム	1974	51	W	107.8
	6-10	豊里福祉ホーム	1974	51	W	107.8
	6-11	拓進福祉ホーム	1974	51	W	107.8
	6-12	大光福祉ホーム	1975	50	W	107.7
	6-13	相川福祉ホーム	1975	50	W	107.8
	6-14	日方福祉ホーム	1977	48	W	113.0
	6-15	振別福祉ホーム	1978	47	W	112.6
	6-16	生花行政区会館	2021	4	W	175.0
	6-17	芽武行政区会館	1979	46	W	95.5
	6-18	大和行政区会館	1979	46	W	85.8
	6-19	中大樹行政区会館	1979	46	W	95.7
	6-20	北大樹会館	1973	52	RC	226.0
	6-21	東和福祉ホーム	1979	46	W	112.6
	6-22	萌和行政区会館	1979	46	W	269.3
	6-23	松山・下大樹行政区会館	1980	45	W	95.5
	6-24	更生老人憩いの家	1983	42	W	85.9
	6-25	上大樹行政区会館	1979	46	W	70.5
	6-26	旭行政区会館	2011	14	W	176.0
	6-27	浜大樹行政区会館	2011	14	W	176.0
6-28	石坂行政区会館	1993	32	W	244.6	
6-29	旧北保育園	1978	47	W	844.5	
6-29	老人と母子の家	1972	53	W	304.2	
6-30	勤労者センター	1974	51	W	382.5	
学校教育関連施設	7-1	学校給食センター	2001	22	RC	853.9

	7-2	大樹小学校教職員住宅	1988 ～ 2012	13 ～37	W	486.8
	7-3	大樹中学校教職員住宅	1979 ～ 2011	14～ 46	W	719.0
	7-4	教職員単身者住宅	2000	23	W	395.3
	7-5	高校生用シェアハウス	1988 ～ 1993	32～ 37	W	254.4

施設分類	No.	施設名	建築 年度	経過 年数	構造	総延床面積 (㎡)
その他	8-1	公衆浴場	1981	43	S	385.8
	8-2	旧尾田認定こども園	1995	30	22	244.6
	8-3	旧尾田児童館	1974	51	W	454.5
	8-4	旧大樹駅舎	1966	59	S	163.3
	8-5	旧給食センター	1968	57	S	394.5
	8-6	旧尾田小学校	1971	54	RC	1,860.6
	8-7	南十勝酪農ヘルパー組合事務所兼寮	1979	46	W	335.3
	8-8	大樹町歯科診療所	1981	44	W	253.5

図表3 個別に計画を策定している施設等

施設分類	施設名等	計画名	策定（改定）年度
住宅施設	公営住宅	大樹町公営住宅等長寿命化計画	令和4（2021）年3月
子育て・ 福祉支援施設	大樹町立国民健康保険病院	大樹町立国民健康保険病院事業経営戦略	令和6（2024）年3月
学校教育 関連施設	大樹小学校	大樹町学校施設長寿命化計画	令和5（2023）年2月
	大樹中学校	大樹町学校施設長寿命化計画	令和5（2023）年2月
インフラ系施設	町道	—	令和6（2024）年以降予定
	橋梁	大樹町橋梁長寿命化修繕計画	令和5年（2023）3月
	水道	大樹町水道事業経営戦略	令和8年（2026）3月
	下水道	大樹町下水道事業経営戦略	令和7年（2026）3月
	公園	大樹町みどりの基本計画	令和7年(2025)3月
宇宙航空施設	北海道スペースポート	—	令和9年度以降予定

### Ⅲ 計画の基本方針

計画の策定にあたっては、総合管理計画に掲げる基本方針に基づいて、施設の利用実態や今後の需要見通し、経年劣化・損傷等の状況把握のための日常的な巡視、耐震診断等の専門的見地による定期的な点検・診断の結果をもとに施設の必要性や周辺施設の立地状況を考慮した上で整理・検討を行い、将来的な財政負担を踏まえながら、計画期間における施設管理の対策の方針を示すものとします。

対策の方針については、施設の躯体に関わる大規模な改修や耐震補強、建替えによる更新、廃止（除却）についてのみ方針を示すこととしますが、施設のメンテナンスや維持修繕、設備更新の計画等がある程度把握することとし、日常的な巡視及び定期的な点検等により施設状況を常に把握し、安全性や使用感などを十分留意しながら随時必要な修繕・改修を行うことで長寿命化を図っていきます。

なお、本計画の対象外とした施設については、日常的な巡視及び定期的な点検等の実施により施設状況を常に把握し、安全面などに十分留意しながら随時必要な修繕・改修を行い、長寿命化及び脱炭素化を図っていく事を全体的な方針とします。

## VI 施設分類ごとの現状、課題と個別方針

### 1. 庁舎等行政関連施設

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積（㎡）	耐震性能	個別方針
1-1	役場庁舎		2021	4	50	RC	2,947.6	新耐震	適切な維持管理
1-2	スマート街区	エネルギー棟	2021	4	50	RC	111.1	新耐震	適切な維持管理
		太陽光発電所	2021	4	9	—	—	—	適切な維持管理
1-3	消防庁舎		1999	26	50	SRC	1,843.0	新耐震	適切な維持管理
1-4	石坂消防会館		1994	31	31	S	126.0	新耐震	適切な維持管理
1-5	生花消防会館		1989	36	31	S	81.0	新耐震	適切な維持管理
1-6	尾田消防会館		1986	39	31	S	174.0	新耐震	適切な維持管理

#### ①現状と課題

役場庁舎は旧庁舎が新耐震基準を満たしておらず震度6以上の地震で倒壊する危険性があったため、令和3（2021）年度に改築しました。

また、その改築に併せて木質バイオマスと太陽光発電等を活用したスマート街区を構築し、役場庁舎を含めた近隣施設で構成する街区内に電力や熱源の供給・一元管理するネットワークを整備することで脱炭素化及び再生可能エネルギー地産地消化を図っています。

消防庁舎は、定期的な点検・修繕を実施しており、施設全体で目立った老朽化は見られませんが、ボイラー設備など既存設備については耐用年数や劣化状況によって更新する必要があります。

各消防会館については、各地区の防火・防災活動拠点として位置付けられていますが、施設の老朽化に伴う修繕が発生している状況にあります。

#### ②今後の方針及び計画

役場庁舎及びスマート街区は改築・新設の施設のため日常的な巡視・定期的な点検の実施により全体状況を常に把握し、中長期的な管理・修繕計画を作成し、設備等の修繕・更新を計画的に行うことで施設の長寿命化に努めます。

消防庁舎については、適切な維持管理のもと、施設の法定耐用年数や設備の老朽化を鑑みた改修・長寿命化を図ります。

各消防会館は、法定耐用年数を超える施設もあり、経年劣化が一部で見られますが、適切な時期の補修するなど長寿命化を図ります。

## 2. 子育て・福祉支援施設

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積（㎡）	耐震性能	個別方針
2-1	福祉センター		1970	55	50	RC	1,131.7	旧耐震	あり方の検討
2-2	南十勝こども発達支援センター		1981	44	38	S	537.8	旧耐震	適切な維持管理
2-3	高齢者保健福祉推進センター		1998	27	50	RC	1,418.4	新耐震	適切な維持管理
2-4	特別養護老人ホーム		1995	30	50	RC	2,434.0	新耐震	適切な維持管理
2-5	デイサービスセンター		1995	30	50	RC	469.0	新耐震	適切な維持管理

### ① 現状と課題

福祉センターは、防水機能の低下による外壁や屋根からの雨漏り、ボイラー設備の故障など施設の経年劣化により、多くの不具合が発生している状況です。

高齢者保健福祉推進センターは、町民の健康保持及び増進を図る拠点施設となっており、集団検診などの保健事業や健康増進室として利用されています。施設全体で目立った劣化は見られていない状況です。

その他の施設については、経年劣化による設備の損傷の発生などの修繕が発生している状況です。

### ② 今後の方針及び計画

福祉センターについては、他の公共施設への機能分散による解体、他施設との複合化による改築など、今後の施設のあり方の検討を進めていきます。

その他については、日常的な巡視・定期的な点検の実施により、適切な維持管理を行いつつ、計画的な改修により長寿命化を図ります。

### 3. 住宅施設

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積（㎡）	耐震性能	個別方針
3-1	ワーキングステイ住宅	松山町	1988	37	20	W	95.1	旧耐震	適切な維持管理
		松並2号	1997	28	20	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		松並3号	1996	29	20	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
3-2	農業担い手単身者住宅		2000	25	22	W	395.3	新耐震	適切な維持管理

#### ① 現状と課題

何れも法定耐用年数を経過し、劣化による修繕が発生している状況です。

#### ② 今後の方針及び計画

日常的な巡視・定期的な点検の実施により、必要な修繕を行い維持管理していきます。

## 4. 産業関連施設

No.	施設名	建築物 (棟)名	建築 年度	経過 年数	法定 耐用 年数	構造	延床面積 (㎡)	耐震 性能	個別方針
4-1	学童農業研修センター(晩成の宿)		1982	43	50	RC	826.0	新耐震	適切な維持管理
4-2	晩成温泉		1980	45	50	RC	989.5	新耐震	適切な維持管理
4-3	地場産品研究センター		1990	35	38	RC	303.0	新耐震	あり方の検討
4-4	光地園牧場	事務所	1973	52	24	W	279.7	旧耐震	あり方の検討
		場長住宅	1974	51	24	W	67.8	旧耐震	機能廃止・除却
		看視舎C (住宅A)	1976	49	24	W	124.7	旧耐震	あり方の検討
		看視舎C (住宅B)	1975	50	24	W	124.7	旧耐震	あり方の検討
		看視舎D-1 休憩所	1976	49	24	W	13.0	旧耐震	あり方の検討
		看視舎D-2 休憩所	1976	49	24	W	13.0	旧耐震	あり方の検討
		看視舎D-3 休憩所	1976	49	24	W	13.0	旧耐震	あり方の検討
		看視舎D-4 休憩所	1976	49	24	W	13.0	旧耐震	あり方の検討
		農機具 格納庫A	1973	52	31	S	118.2	旧耐震	あり方の検討
		農機具 格納庫B	1976	49	31	S	118.2	旧耐震	あり方の検討
		機械格納庫 1	2003	22	15	W	194.4	新耐震	あり方の検討
		機械格納庫 2	1986	39	31	S	205.6	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎E	1997	28	17	W	499.0	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎F	1998	27	17	W	499.0	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎G	2000	25	17	W	499.0	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎H	2002	23	17	W	499.0	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎 (鉄骨)	2004	21	31	S	964.4	新耐震	あり方の検討
		育成牛舎 試験舎	1995	30	31	S	116.6	新耐震	あり方の検討
		避難舎・飼料 貯蔵施設	1976	49	31	S	1,675.9	旧耐震	あり方の検討
		堆肥舎	2003	22	31	S	2,610.0	新耐震	あり方の検討
乾牧草 収納庫	1977	48	31	S	242.9	旧耐震	あり方の検討		

		衛生舎	1975	50	24	W	85.1	旧耐震	あり方の検討
		乾燥庫	2001	24	31	S	291.6	新耐震	あり方の検討
		入牧受付場	1993	32	24	W	19.4	新耐震	あり方の検討
4-5	晩成牧場	看視舎	1987	38	24	W	58.3	新耐震	適切な維持管理
		物置	1991	34	24	W	19.4	新耐震	適切な維持管理
		第2牧場物置	1988	37	15	W	6.5	新耐震	適切な維持管理
		看視舎	1989	36	24	W	108.5	新耐震	適切な維持管理

## ① 現状と課題

晩成温泉及び学童農業研修センターは、宿泊温泉施設として指定管理者制度により管理運営しています。令和5年に学童農業研修センターの外壁や屋根の改修を実施し、翌年度には、晩成温泉浴室等の大規模な改修工事を行っております。給水管などの配管設備は、老朽化が進んでおり、水漏れが発生した段階で、修繕を行っている状況です。

地場産品研究センターは地場産物の付加価値追及と高度利用を図るための試作研究施設として設置されていますが、施設備品の経年劣化による破損や利用者の減少が進んでおり、最小限の修繕を行い維持管理している状況です。

光地園牧場と晩成牧場については、法定耐用年数を大幅に超えて使用している施設も多くありますが、日常的な巡視を実施し劣化や破損に応じた修繕を行っています。

晩成牧場は、令和6年4月より指定管理制度により管理運営を行っています。

## ② 今後の方針及び計画

晩成温泉及び学童農業研修センターについては、今度も、観光施設として多くの利用が見込まれることから、指定管理者と連携して適正な維持管理を行い、長寿命化を図ります。

地場産品研究センターは、施設の老朽化が進んでおり、現在の利用状況などから、他施設への機能集約などを含めた在り方の検討を進めます。

光地園牧場は、預託頭数の減少による収入減、物価高騰などによる支出増により、経営が厳しさを増している状況となっており、施設の老朽化も進んでいることから、管理運営方法などを含めて、あり方の検討を進めます。その他の施設は必要最小限の修繕により維持管理を行いつつ、産業構造の変化、利用ニーズに合わせて、在り方を検討して行きます。

## 5. 社会教育・スポーツ施設

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震性能	個別方針
5-1	郷土資料館		1932	93	24	W	736.3	旧耐震	あり方の検討
5-2	図書館		1975	50	38	S	1,362.2	旧耐震	あり方検討・取壊し
5-3	B & G 海洋センター	体育館	1981	44	34	S	1,214.1	旧耐震	適切な維持管理
		旧プール	1982	43	34	SRC	942.1	旧耐震	取壊し
5-4	武道館		1984	41	34	S	934.2	新耐震	適切な維持管理
5-5	B & G 海洋センター艇庫		1989	36	31	S	628.1	新耐震	適切な維持管理
5-6	高齢者健康増進センター		1991	34	38	S	666.5	新耐震	適切な維持管理
5-7	生涯学習センター		1998	27	50	RC	4,963.7	新耐震	適切な維持管理
5-8	中央運動公園	センターハウス	1996	29	47	S	775.7	新耐震	適切な維持管理
5-9	町民プール		2022	3	34	SRC	804.6	新耐震	適切な維持管理

### ①現状と課題

郷土資料館は、大樹町開拓時や砂金採集に関する資料等を展示していますが、法定耐用年数を大幅に超えて使用しているため、施設全体の老朽化が著しい状況です。

図書館については、耐震強度不足のため使用しておらず、生涯学習センターの一部を使用し運営しています。令和6年度から2年間、図書館の在り方検討委員会を設置し、将来を見据えた施設の在り方の議論を行ったところです。

B & G 海洋センターは、法定耐用年数の経過とともに老朽化がみられ、外壁等の一部については大規模修繕を行っており、今後は既存設備の更新を実施する必要があります。

生涯学習センターについては建築後27年が経過しており、長寿命化に向けた大規模改修が必要な時期を迎えています。

### ②今後の方針及び計画

大樹町郷土史料館は、石坂小学校の廃校後に、旧校舎を利活用したもので、建設から 90 年を超える建物で、今後の郷土史料の保存・管理方法などを含めて、在り方を検討して行きます。

図書館については、図書館の在り方検討委員会の検討結果と将来への負担など財政状況を考慮した上で、改築等の方向性を定めて行きます。

生涯学習センターは、施設全体の利用状況や利用者ニーズを踏まえて、他施設からの機能の集約化などの方向性を定めて、計画的な大規模改修等を進めて行きます。

B&G 海洋センターの旧プールについては、学童保育所の建設予定地としており、令和 8 年度の解体を予定しています。

その他の施設については、日常的な巡視・定期的な点検の実施により、適切な維持管理を行い、計画的な改修により長寿命化を図ります。

## 6. 各コミュニティ・集会所

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積（㎡）	耐震性能	個別方針
6-1	尾田地域コミュニティセンター	本館	1993	32	50	RC	1,793.9	新耐震	適切な維持管理
		屋内運動場	1989	36	34	S	850.6	新耐震	適切な維持管理
6-2	中島地域コミュニティセンター	本館	1992	33	50	RC	1,340.1	新耐震	適切な維持管理
		屋内運動場	1990	35	34	S	699.5	新耐震	適切な維持管理
6-3	歴舟地域コミュニティセンター	本館	1997	28	50	RC	1,177.3	新耐震	適切な維持管理
		屋内運動場	1991	34	34	S	699.5	新耐震	適切な維持管理
6-4	開進福祉ホーム		1982	43	24	W	112.6	新耐震	適切な維持管理
6-5	上中島福祉センター		1982	43	24	W	95.7	新耐震	適切な維持管理
6-6	南町行政区会館		1996	29	24	W	60.8	新耐震	適切な維持管理
6-7	晩成行政区会館		2020	5	24	W	153.4	新耐震	適切な維持管理
6-8	美成福祉ホーム		1973	52	24	W	120.3	旧耐震	適切な維持管理
6-9	拓北福祉ホーム		1974	51	24	W	107.8	旧耐震	適切な維持管理
6-10	豊里福祉ホーム		1974	51	24	W	107.8	旧耐震	適切な維持管理
6-11	拓進福祉ホーム		1974	51	24	W	107.8	旧耐震	適切な維持管理
6-12	大光福祉ホーム		1975	50	24	W	107.7	旧耐震	適切な維持管理
6-13	相川福祉ホーム		1975	50	24	W	107.8	旧耐震	適切な維持管理
6-14	日方福祉ホーム		1977	48	24	W	113.0	旧耐震	適切な維持管理
6-15	振別福祉ホーム		1978	47	24	W	112.6	旧耐震	適切な維持管理
6-16	生花行政区会館		2021	4	24	W	175.0	新耐震	適切な維持管理
6-17	芽武行政区会館		1979	46	24	W	95.5	旧耐震	適切な維持管理
6-18	大和行政区会館		1979	46	24	W	85.8	旧耐震	適切な維持管理
6-19	中大樹行政区会館		1979	46	24	W	95.7	旧耐震	適切な維持管理
6-20	北大樹会館		1973	52	50	RC	226.0	旧耐震	適切な維持管理
6-21	東和福祉ホーム		1979	46	24	W	112.6	旧耐震	適切な維持管理
6-22	萌和行政区会館	本館	1979	46	24	W	100.0	旧耐震	適切な維持管理
		屋内運動場	1963	62	22	W	169.3	旧耐震	適切な維持管理
6-23	松山・下大樹行政区会館		1980	45	24	W	95.5	旧耐震	適切な維持管理

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震性能	個別方針
6-24	更生老人憩いの家		1983	42	24	W	85.9	新耐震	適切な維持管理
6-25	上大樹行政区会館		1979	46	24	W	70.5	旧耐震	適切な維持管理
6-26	旭行政区会館		2011	14	24	W	176.0	新耐震	適切な維持管理
6-27	浜大樹行政区会館		2011	14	24	W	176.0	新耐震	適切な維持管理
6-28	石坂行政区会館		1993	30	24	W	244.6	新耐震	適切な維持管理
6-29	旧北保育園		1978	47	22	W	844.5	旧耐震	適切な維持管理
6-30	老人と母子の家		1972	53	24	W	304.2	旧耐震	適切な維持管理
6-31	勤労者センター		1974	51	24	W	382.5	旧耐震	適切な維持管理

### ① 現状と課題

各コミュニティ・集会所については、地域の自治活動や地域住民の交流の場として利活用されているところですが、法定耐用年数を超えている施設が多く、必要に応じて修繕を行うとともに、毎年、数施設ごとに長寿命化の改修を行っているところです。

### ② 今後の方針及び計画

可能な限り既存の施設の維持管理に努め、老朽化の度合いや利用状況、今後の地域の世帯数の状況などを考慮して、長寿命化を柱に建て替えや統廃合の検討を進めて行きます。

## 7. 学校教育関連施設

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震性能	個別方針
7-1	学校給食センター	本館	2001	24	50	RC	853.9	新耐震	適切な維持管理
7-2	大樹小学校教職員住宅	6号	1988	37	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		7号	1997	28	22	W	69.0	新耐震	適切な維持管理
		8号	1997	28	22	W	69.0	新耐震	適切な維持管理
		10号	1999	26	22	W	69.0	新耐震	適切な維持管理
		11号	2012	13	22	W	108.1	新耐震	適切な維持管理
		12号	2012	13	22	W	108.1	新耐震	適切な維持管理
7-3	大樹中学校教職員住宅	140号	2011	14	22	W	104.3	新耐震	適切な維持管理
		141号	2011	14	22	W	104.3	新耐震	適切な維持管理
		142号	1979	46	22	W	65.2	旧耐震	適切な維持管理
		149号	1989	36	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		150号	1990	35	22	W	63.6	新耐震	あり方の検討
		151号	1990	35	22	W	63.6	新耐震	あり方の検討
		152号	1991	34	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		153号	1991	34	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		154号	1992	33	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		155号	1993	32	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
7-4	教職員単身者住宅		2000	25	22	W	395.3	新耐震	適切な維持管理
7-5	高校生用シェアハウス	1号	1988	37	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		2号	1991	34	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		3号	1993	32	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理
		4号	1993	32	22	W	63.6	新耐震	適切な維持管理

## ① 現状と課題

---

学校給食センターは町内の小中高等学校の児童・生徒等の給食調理、配送までの業務を担い、安心・安全な学校給食の提供を行っています。建築後 24 年を経過しており、建物の躯体は概ね健全な状態であるものの、給排水設備や電気設備、調理用設備の更新が求められています。

教職員住宅は転任の多い教職員の福利厚生の一環として安定的かつ良好な住居を確保するため整備していますが、法定耐用年数を超えて使用している住宅も多く、既存設備の故障による更新を随時行っている状況です。また、町外から通勤する教職員が増え、長期にわたり空家となっている住宅も多い状況から、4 戸を大樹高校生徒用シェアハウスとして改修して整備を進めているところです。

## ② 今後の方針及び計画

---

学校給食センターは、今後も安定的に学校給食を提供する環境・体制を整える必要があるため、現状維持を基本としながらも日常的な巡視と定期的な点検を怠らず、随時必要な修繕や改修、設備更新を行います。

教職員住宅については、必要とする住宅数については、引続き維持管理に努めるとともに、入居見込みがない住宅については、使用用途の変更など有効活用を図ります。

## 8. その他

No.	施設名	建築物（棟）名	建築年度	経過年数	法定耐用年数	構造	延床面積(m <sup>2</sup> )	耐震性能	個別方針
8-1	公衆浴場		1981	41	34	S	385.8	旧耐震	あり方の検討
8-2	旧尾田認定こども園		1995	30	22	W	244.6	新耐震	あり方の検討
8-3	旧尾田児童館		1974	51	22	W	454.5	旧耐震	あり方の検討
8-4	旧大樹駅舎		1966	59	38	S	163.3	旧耐震	機能廃止・除却
8-5	旧給食センター		1968	57	31	S	394.5	旧耐震	機能廃止・除却
8-6	旧尾田小学校		1971	54	50	RC	1,860.6	旧耐震	機能廃止・除却
8-7	南十勝酪農ヘルパー組合事務所兼寮		1979	46	24	W	335.3	旧耐震	機能廃止・除却
8-8	大樹町歯科診療所		1981	44	24	W	253.5	旧耐震	適切な維持管理

### ①現状と課題

公衆浴場については、経年劣化による破損や既存設備の不具合等により毎年修繕を行っている状況です。

その他の施設は、普通財産として貸し付けている物件もあり、必要に応じての維持管理を行っています。

### ②今後の方針及び計画

公衆浴場については、老朽化、住民ニーズ、代替施設の有無などを踏まえ、今後の施設のあり方を検討します。

旧尾田認定こども園及び旧尾田児童館は、施設の今後の在り方を検討して行きます。

大樹町歯科診療所については、適正な維持管理を行います。

それ以外の建物については、経年劣化が著しく、耐用年数などを考慮すると、大規模な改修を行わず、危険性が高いと判断した段階で、解体することで準備を進めます。